

次に、24番谷口議員の質問を許可いたします。

ご登壇を求めます。

24 番谷口議員

谷口議員／市民クラブの谷口でございます。

ただいまより、一般質問を始めさせていただきます。

武雄市の図書館・歴史資料館には、本当は歴史資料館・図書館なんですが、鍋島茂義公、いわゆる幕末から明治にかけて、武雄市が、佐賀県をもとに、日本の国、そういうものを素晴らしい国にするために頑張った、そういう歴史をきちんと伝承する場所が歴史資料館であり、武雄市の図書館だったんですが、現在、図書館の現状、非常に、先ほども問題になっておりましたが、いろいろと利用方法と、また、その図書館の現在のあり方について、いろいろな市民の意見もあります。

私もいろいろ話をしたい。

先般、いつかも御紹介申し上げたことがあると思いますけども、国際陶芸アカデミー、世界・炎博覧会をいたしましたときに、世界中の作家の方、関係者が集まられたときに、武雄市は歓迎の大会が文化展でありました。

そのときに、唐津のものを披露いたしましたし、武雄の誇る伝承的な、歴史的な流鏝馬を世界中の方に披露を。

そのときに、世界中から集まった方々に、そのイトグチ(?)をお送りしました。

その中で、それをどういうふうにも外国語に翻訳するか悩みましたが、ラッキースティック、幸運を呼ぶあたりば(?)という表現でお送りしましたところ、ラッキースティックということで非常に世界中から集まった方々が喜んでいました。

そのイトグチは誰が作るか。

このもっているものは、96歳のおばあさまが作ってもらったイトグチ。

私はあえてそれを申し上げているのは何かというと、いわゆる歴史文化の中で、私たちがおりました地域の方々、流鏝馬の、1つの歴史で、例えば、流鏝馬の行事については伝承し、そして、馬場は、武雄区が伝承・管理していく。

宵の祭りといひまして、いわゆる…その前に鎌倉、京都か。

鎌倉の記者が武雄に来たときその行事は、八百十数年の歴史を経ても、今なお武雄区が伝承し、継承しています。

そしてまた、流鏝馬の馬に乗る神事の部分については、伝統として、いわば武雄市の多くの人が集まって、懸命に伝承活動を続けています。

大変です、朝から晩まで。

そしてまた、そのイトグチにしても、お年寄りの方々が昔からのそれにのっかって作ってきて、一つ一つ手作業で作って、伝承していく。

一生懸命、頑張っている。

例えば、流鏝馬の馬の走る馬場についても、武雄市の市道の問題があったときに、流鏝馬の馬場を執行部の答弁では、1年にわずか1カ月か、そこらしか使わないから、流鏝馬の日までの期間は、駐車場にということ流鏝馬伝承会、保存会のほうに申し出があった。私が、図書館のための駐車場を確保するために、伝承的にやっとなんかの思いでやったものがなくなりました。

それを再建させた、市民のための伝承的な行事のことを***。

なぜそういう考えなのかと。

歴史文化伝承を大事にするという、そういうような武雄市の姿勢が、今回の歴史資料館を、***にしてしまった。

私は遺憾に思っていますが、そのことを含めまして、今回は、市の考え方を、お聞きいたします。

伝承を続けてこられた方々にとっては、本当にみんな集まりをして、こういう話をされた。一生懸命、歴史を守っていこうと。

伝承していこうと。

そういう中で頑張ってきたことを、行政そのものが、そういうふうな一時的な便宜のために、あるいは、そういうもののために、なんで私たちの、文化を***。

流鏝馬は、***じゃない。

それくらいの強い意見が出て、関係者が集まって、申し出を***というのが、議会が開会された2日の日です。

私はきわめて、歴史文化、伝承的なことを本当にすばらしいまちとして、みんなが一生懸命やってきたのに、そういうことをして、非常に…。

駐車場自体が、悪いとは言いませんけど、何かほかの方法はなかったのかということで、あえて、冒頭の質問として、このことを質問したいと思います。

議長／樋渡市長

樋渡市長／嘘、でたらめとまでは言いませんけど、それに近いものがありますね。

まず、われわれは何をいいたかったかというと、図書館もそうなんですが、先の議会答弁で、ようするに、本当にあそこが混雑をして、実は市民生活まで支障があるというところまできている。

緊急避難的に、どうしてもかぶさるところというのがあつて。

物凄く多く来るところがあつて。

先のゴールデンウィークのときは、7200人ですよ、1つの館に。

ですので、そういったことになると、先ほど申し上げたとおり、物凄く市民の生活に負担・荷重がかかる。

そうしないように、あるピークに達するときは、緊急避難的に貸していただけないでしょ

うかと。

40台止められるですね。

それだけでも、全く違うんです。

ですので、あたかも、駐車場に変えるかのごとく、卑怯なんです。

また、駐車場自体は悪くないって言い訳しているじゃないですか。

駐車場については、私もやむをえず、市民生活を考えたときに、緊急避難的に貸していただけないでしょうかということです。

それと、これは市の持ち物でありますので、市が責任を持って説得をする立場にあります。

われわれが今度危惧しているのは、伊勢神宮の話も出ましたけど、それを考えたときに、神社まわりがブームになっている。

われわれが一番恐れているのは、今度の元旦です。

武雄神社になったとき、武雄市図書館以上に、物すごく人が…。

武雄は今、物すごく勢いがあるって。

私が聞いた限り、飛行機の中で聞いたんですけど、武雄市の勢いにあやかりたいといった方もいるんです。

そういった方々を考えたときに、また、駐車場があふれて、道ばたに停まると、事故の危険性もあるので、やむを得ず、貸してくれないかと申し上げた次第です。

かつ、私も、内々ですが、そこに相談に行った方々に話をあとで…私のところにありました。

これは市に協力しますと。

これが、会としての総意かはわかりませんが、いって、市が言っていることは理解すると。議論というのはいろいろあるんです。

真っ黒というのはありません。

そこを調整して検討するというのが、われわれ行政の、責任ある立場だと思っています。

もとより、これをやるからといって、文化の振興とか、伝承というのをないがしろにするつもりは、全くありません。

それと、失礼ですよ。

カルチャ・コンビニエンス・クラブをビデオ屋とかいうのは。

本当に失礼きわまりないです。

本当にね、議員たるものが、一生懸命、CCCの皆さんたちは、頑張っておられますよ。

それを否定するような物言いは、議員の風上にもおけない、このように思います。

議長／24番谷口議員

谷口議員／えらく、市長の失言が…。

ああいう市長なんです。

私が申し上げたいのは、地域の方々が一生懸命になって守ってきたものを…。

大体、あそこはあなたは御存じないでしょ。

神社の参道だったんです。

ところが、あそこは、武雄神社の前に県道がきたために、あの馬場がつぶれて、公共のために参道が広がったため、いびつな形になっている。

県道ができて。

例えば、行事のために、本当は、広い場所があつて、馬が走る、先の方は、いわゆる田んぼだったわけですね。

そういう昔のことは、私は全部知っていますから。

そういう状況の中で、なんとかして、馬場を作りたいという願いがあつて、そのためにきちっとして、武雄神社は、参道を市に提供したために、市道ができています。

だから、市の土地だからって、それは今、市の土地になっただけです。

そこを考えながら…あなた、黙ってください。

私が市長に申し上げているのは…。

議長／静かに。

谷口議員／あと 30 分続けてやりますよ。

市長の態度がですね、文化とか歴史に対する…。

流鏝馬の問題についてはですね、私も、今までの間、一生懸命資料を作りました。

一生懸命ですよ。

本当に一生懸命作られて…。

あなたはわからんで…。

こういうふうな形の中で作ってきたということ、そういう思いがあつた、伝承した文化を伝承したいわけですよ。

議長／野次には応酬しないように。

谷口議員／野次に注意してください。

私が申し上げているのは、例えばそういうふうなことについて…笑われるんですか、市長は。

恥ずかしいよ。

議長／静かに。

私語はつつしんでください。

質問を続けてください。

谷口議員／私に質問させてください。

樋渡市政の、結局そういうふうなね…文化的なことや伝承的な部分について、一生懸命やっている皆さんのことがあると。

それについては、やはり、***の第2、第3駐車場もあるんですよ、緊急避難的にするには。

人が集まったときには、やむをえないから、図書館には駐車できないからですね。

駐車場を貸してくださいと、そういうお願いを保存会にして、協力してもらってできたわけです。

そういう状況の中で、写真をとったの見せますが、例えば今の場所を駐車場にしたらどうなるか。

今の図書館・資料館はですよ、何といたしますか。

マナーが悪いですね。

せっかく流鏝馬の場所を植栽をしてありますが、木が枯れないように前向きに駐車をしてくださいとお願いした。

これも、質問の中に入っているんだから。

そういうふうな状況の中で、もしあのせっかく作った馬場が、駐車したときに前より狭いですから、どっちかの植栽の植木が枯れるわけです。

それを、図書館のそういうふうな状況の中で、今はそうなんだと。

それも、前も指摘していましたが、じゃあ図書館のそういう管理は誰がするんですか？

CCCですか。

その点、まずお聞きします。

議長／樋渡市長。

樋渡市長／まず今回、神社の参道の話のをわれわれで調べたときに全くのうそでたらめです。先ほどヤ野次の一部でもありましたが、あれはゆめタウンさんが進出するときに総合的に勘案してなったときに、なったということなんですね。

なにも図書館だけの問題ではない。

全体の武雄市の市民の福祉の維持向上のための、交通政策のためになったと。

なんか全部、みそもくそも図書館ということについては、いかがなものかと思います。

さっきマナーが悪いということもありますが、それについては、御指摘は管理したいとおもいます。

さっき私も見に行つてね、後ろ向きのところもあり、植栽が枯れていると。

それは注意喚起したい。

ですので、車だけじゃなくて、議論も、ぜひ前向きにいきましょう。

どうも、すみませんでした。

ですので、お昼になりましたので、この辺にさせていただきます。

谷口議員／議長、お昼も続けさせていただきます。

議長！

議長、議長！

議長／質問の途中ですが、議事の都合上、午後1時20分まで休憩をいたします。

谷口議員／中途半端になる！

* 休憩中 12:01 *

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

24番 谷口議員。

谷口議員／先ほど午前中から、武雄の文化資産、あるいは伝統的な芸能、伝統的な物についてですね、いわば市民の考え方等について、いろいろ質問をして参りましたが、この点については後ほどにいたしまして、次の質問に移らせていただきたいと思います。今年の夏にですね、九州国立博物館で武雄蘭学の世界ということで、大きなイベントがありました。

その中で、武雄が誇る、歴史的な文化的な遺産として、武雄の蘭学の問題。

国立博物館で、イベントがありました。

それまで、武雄の歴史資料館、図書館で、蘭学館で展示されておりましたそういうものを、すべてではありませんでしたが、国立博物館で展示され、説明を行われました。

本当に素晴らしい催しであって、特に私たちは、国立博物館で、展示された歴史、武雄の歴史的な遺産、そしてまた、その中に来られている市民の心というものをですね、図書館がCCCに委託になったあと、確かに、人間が増えた。

何万人が集まったということを市長はいろいろおっしゃいますし、事実は集まっています。ところが、その一方で、それを委託をするときに、歴史資料館にはいったい何人が来るんですかというような感じの説得をなさったような感じはいたしております。

それだけ、何万人の人が見えるならですね、私は、武雄が誇る国立の博物館、本当に衰残の眼で他の市町村のみなさんに見ていただいた、武雄の歴史的なものについてですね、そういう蘭学館をみんな同じ位置に立っておったらもっと認識していただけたと私は思うんです。

しかし、先ほどその歴史資料館が、実はビデオ屋になったと言ったら、非常に市長が反発されておりましたけれども、私はですね、CCC のツタヤですか、あそこのビデオを借りにいきます。

しかし、あえて歴史資料館をそれまでにして、ビデオの貸し出しの場所にすること自体に、私は残念な気持ちを持っていただけです。

契約期間は4年間ですが、5年後にその分だけ返してもらおう考えはないか？

議長／樋渡市長

樋渡市長／まず、一切ありません。

私どもとすれば、今の利活用について、私どもが、どうこう言うよりも、利用者の皆さまが、例えば、去年もとい、今年の3カ月後のアンケートで、83%の皆さんが、この図書館はすごく良いということをおっしゃった。

それと、70%強の利用者のみなさんたちが、今の図書館サービスに満足をしている、ということからして、今の私どもの図書館、あるいは歴史資料館の行っていること、歴史資料館の場合はいろいろな展示を行ってきました。

蘭学についても行ってきました。

そのことが、いろんな課題があるにしても、評価されているということでもあります。

吉川里巳議員さんから、再三に渡って数字も上げて御指摘があったように、蘭学館を昔のように戻せという意見は、おそろくないと思います。

一部からはあるかもしれないが、多くの市民の方、利用者の方々から、そういう意見は、少なくとも私は聞いていません。

ですので、それは民意を大切にすること。

それと、何も武雄の蘭学について、私も蔑ろにするつもりはありません。

それについて、私たちは展示と保存というのを、2つに分ける必要があるだろうと思っています。

展示については、本物を。

昔の蘭学館にあったようなレプリカではなくて、本物をちゃんとした保存状態のまま、企画蘭学展示室でご覧に入れるということ。

それと今までの、保存が本当に良かったかということも含めて、場所の在り方も含めて、それはきちんとしっかりする必要があると思います。

私は前の図書館が、あまりにも中途半端だったと思います。

複合施設というのは、得てして中途半端になりがちです。

ですので、その反省点も踏まえて今の図書館にして、それは議会で、後半の予算の審議を踏まえて、多くの皆さんからも支持されているので、今までの流れを、私としては変えるつもりは一切ありません。

なおかつ、その間に、市民の皆さん、利用者からこうしたほうがいいということについては、どんどん修正をしていっているのです、その民意は大切にしたいと思いますので。

あまり、図書館というのは、後ろ向きな話ではなくて、前向きにこうしていこうよ、という話。

私は、そういった議論にはしっかりと乗っていきたくないと。

このように思います。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／私が今、申し上げているのは、現在の図書館の蘭学館を、そのまま***すると言っている。

第1回の契約期限のときに返してもらって、という考えがないかということを私は申し上げている。

正式に***。

議長／さきほど、ありませんという答弁がありました。

樋渡市長

樋渡市長／ポケットに手をつっこんで、上から目線でおっしゃる議員さんから言わせたくないんですけども、すなわち、自分の意志として、先ほど申し上げたとおり、83%の皆さんから高く指示をされている。

そういう図書館のあり方を、私の一存で変えられるものではありませんので、そういう意味では、私は、民意を受ける。

私自身の考えとして、今の、CD、DVDのコーナーを蘭学館に戻することは考えられないですし、あそこの旧蘭学館の場合は、非常に、本物を保存するには、何も考えていない施設であったということ。

もう1つは、これは吉川議員からも御指摘があったように、ほとんど人が来ないところに強がっていますので、それは違う場所できちんと展示して、中途半端なレプリカをおいても、みんな本物志向に

重ねてではありますが、考えとして、5年間の契約が切れたとき、次がどこになろうとしても、これを蘭学館に移すという考えは一切ございません。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／いっさいない、と聞いた上であえて質問を重ねます。

蘭学館では、今まで、1つの例ですが、鍋島 茂義公の資料もありました。

鍋島 茂義公、それが武雄のいわゆる、先人です。

そういう人たちが、詳しい活躍、活動、あるいは物、実績、そういう即席。

そういうものを、教育の中で活かしていくとなると、そういうことについて、教育長はどのようにお考えですか。

議長／浦郷教育長

浦郷教育長／これまでも話してまいりましたが、先人の業績、文化歴史等については、これまでも、学校教育の中でも、文化行事でも出してきたことで御座います。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／今の教育長の答弁では、確かに、そういうつもりだと思うが、例えば先人が果たしてきた役割、いわゆる、足跡と言いますか、それが誇りとしてつながっていくのではないか、教育の中で活かして欲しい気持ち。

武雄にあるんですから。

あるものがなぜ、展示が置かれぬのかを私はおっしゃっています。

気分を変えた話をします。

鍋島 茂義公の言葉の中に、「人間は一生のうちに多くの物事に取り組む」と。

そしてまた、たとえ長生きしてもその取り組んだ仕事が少ないと、早く死んだのと、同じである。

というようなことを秀吉公が言っていると。

いたずらに馬齢を重ねるのはいかん。

初代の市長、ナカノトシオさんがいった。

本の中に、一生懸命生き抜く、そういうものの中に、私は馬齢を重ねたけれども、一つの思い出であると。

ナカノトシオさんがおっしゃっておる。

初代市長がおっしゃったなかでそういう中で、政治的なものがあります。

今、樋渡市長は、いわゆるシンガポールとか、いろんなところに***。

ところが、ナカノさんが、初めて答弁に行かれました。

そのときにブラジルに行かれた。

予定より2日遅れて、どうしても遅くなり帰ってこれないと。

そのときに武雄市議会はどうされたか。

そのときに帰ってきたナカノ市長はなんと言われたか。

御心配をかけましたと。

佐賀県の方々なぜひと私たちをどうして頑張っているかを聞かれ、そのあと、言われた

言葉が、議会の答弁で集中的な質問があったが、このときに彼が言ったのは、ナカノトシオは、なにしろ、地球の裏側に行っていたので、皆さんの声が届かなくてごめんなさい、といわれて、何も言えなかった。

私が申し上げるのは、今の樋渡市長に答弁じゃなく、そういう前人の方もいるということをお話しています。

この間の国立博物館におけるシンポジウムの中で、館長さん、あるいはトリイ教授、そして、九州大学のナカノ教授、先ほどの三男で九州大学の名誉教授で御座いますが、その方が武雄の歴史、鍋島のこの蘭学館にあった、武雄の蘭学のシンポジウムの講師でした。

その講師と素晴らしい話をしたそのメンバーの中に、実は先ほどの武雄の蘭学館の学芸員の基調演説もあったわけです。

学芸員の演説も含めて、一生懸命がんばり、そして武雄の素晴らしい歴史的な資料を研究し、出している。

あの人たちが、一生懸命仕事する場所がね***、武雄にとって、プラスになるのではと私は思います。

それについて教育長、どう思いますか。

議長／樋渡市長。

谷口議員／市長に聞いていないです。

教育長に聞いています。

樋渡市長／ごめんなさい、1点お伺いしたいんですけども、差し支えなければお答えになられたいんですけども、先ほど九州国立博物館で武雄の蘭学展があったのは、私も行きましたし、いろんな報道され高い評価をいただいているのは、私としてもありがたく思っていますけども。

先ほど、お伺いすればよかったです。

その中で蘭学館からいろいろ持って行かれたと、お聞きします。

いろいろとはなんでしたっけ？

ぜひ、そこをご質問されるのであれば、その中身をお伝えできればありがたいと思います。

いろいろというのはなんでしょうか？

議長／24番 谷口議員

谷口議員／蘭学館から貸し出した資料、国立博物館にお貸し出した資料については、教育委員会が所管して出している。

いろいろですよ。

議長／樋渡市長

樋渡市長／教育委員会に聞くのは筋違いだと思います。

いろいろ持って行かれたというふうに、速報の記録を拝見しましたが、いろいろとおっしゃって、そのいろいろというのはなんでしょうか？

議長／24番 谷口議員

谷口議員／手元にありませんので、休憩してもらったら調べて。

議長／静かに。

谷口議員／中身がわからんじゃない、確実に皆さんに教えたいから言っているわけでしょう。

しばらく休憩してください。

質問だって、答弁ができないじゃないですか。

休憩してください。

資料を出すんですしょ？

議長／質問にせひとも、その資料がなければ質問できないという状況じゃないので。

谷口議員／答弁できないから休憩するんですね。

議長／休憩いたしません。

質問を続けてください。

静かに。

谷口議員／武雄の***、男女関係、そういうのも出ておりました。

嘘嘘と言うからには聞いてください。

議長／答弁を求めているんですか？

谷口議員／答弁求めている。

知らないという。

議長／樋渡市長。

樋渡市長／やっぱり思いつきと嘘だったんですね。

男女関係は一切でておりません。

蘭学館から出たのは、大砲の3つだけです。

男女については一切出ておりません。

ですので、やっぱり何も調べることなく、こうやって思いつきのまま、いろいろでていると言うことで、周囲の皆さんたちに、こう見ている方に誤解を与える表現というのが、ここでも垣間見れたな、そのように感じております。

ポケットに手を突っ込んでお話しされる答弁だなと思いますね。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／***。

もちろん、***が大砲置いていることは知っているじゃないですか。

知っていて何で私に聞くのですか？

いろんな蘭学館関係の資料も出ています。

だから議長、こういうことに私を嘘つき呼ばわりは嫌ですよ。

議会も調査して、***があることはわかりません。

資料も全部訂正と言えば、作ります。

そして持って行ってかえさんばだから。

その資料を図書館の担当かなんですね。

その資料を出してもらって、議会で発揮してもらおうじゃないですか。

そうじゃないですか。

そうしないと、議会で議員がね、嘘の質問したと言われれば嫌ですよ。

議会全員の権威に関係しますよ。

議長／叩かないでください。

谷口議員／いや、私の気持ちですよ。

議長／テーブルは叩かないで。

谷口議員／何を叩かないんですか。

議長／調べてもし御質問があるならば、あすまで一般質問はありますので、その中で報告

とあれば。

谷口議員／でも質問ではないです。

執行部の答弁に責任としては、質問は成すまでと暫時休憩をお願いするじゃないですか。
なんで議会だけできない。

議長／資料がなかったら一般質問ができないのであれば、暫時休憩をしてでも資料は撤去
します。

谷口議員／資料を出すだけでいいんですね。

市長はあんなこと言っている。

議長／資料がなかったらできないわけではないでしょう。

ですから、一般質問を続けてください。

谷口議員／それでは一般質問ですよ。

議長／それでは続けてください。

谷口議員／大砲だけです。

この大砲を持って行って、そのことについていろいろと***あったと。

これについてはメンバーの名前もコピーしてもらいました。

実際に持ってきていますので、私は、嘘を言いながら質問する気は毛頭無い。

だから、資料をもらってからしか今は報告できませんので、時間をくださいと言いました。

歴史資料館のほうは知ってますから、それを知ってもなおいかんのですか？

かみ合わんのいかんなら出さないかんでしょう。

議長／その資料がなかったら、一般質問ができないのなら資料が必要ですけども。

谷口議員／***。

嘘を言っているじゃないですか。

どうですか？

議長／一般質問を続けてください。

疲れました。

一般質問を続けてください。

谷口議員／私も疲れますよ。

あんなにわからない人に説明するのは、

次。

執行部いるから、何があるかわかるからすぐ調べてくださいよ。

真実を明らかにしようと思うから、私、さらけ出して話をしてるわけですよ。

すぐに取りかかってくださいよ。

次にいきますけども。

実はここにですね…。

ここに、ニワトリが書いてます。

このニワトリについてですね。

例えば、子どもたちが書いた絵です。

4本足のニワトリ。

それについてですね、教育長の感想をお聞かせください。

学校の図書の中にあります。

議長／浦郷教育長

質問して良いですか？

答弁できますか？

浦郷教育長／感想と言うことですので、これは、ワタナベ先生から見せていただいたときに、しっかりお話がきてましたが、子どもたちの観察、あるいは、普通感覚等を課題にして話したことを覚えています。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／教育長なら分かってもらえると思います。

この中にですね、教育に関する重要なものがあります。

きのうからある、機材を活用した反転教育とか、詳しい教育の考え方、進め方について議論しましたが、いわゆる、私たちの武雄には、4本足のニワトリ、ニワトリは2本足ですね、だいたい。

だけど、4本足のニワトリを…。

これは、***小学校の3年の、書いた当時、****さんというお子さんですが、この絵に表現されているニワトリは、足が4本ある。

色は、くちばしと同じ赤い色を使い、輪郭を赤で取ってます。

なぜ、4本もつけたかが、はじめ、2本つけていたが、あとの2本をつけなければ、どう

してもニワトリがかわいそうになる。

だから、4本足のニワトリを作品として出しておるわけです。

そういったことで、悪く掲載…、緑の束のようなものが描かれてますが、これは野菜だと。器までも緑で塗りつぶしてます。

最初、黄土色で書いていたが、思うようにはっきりしなかったのでしょう。

自分の1番嫌いな色の黒を使ったので、その色を塗っています。

バックは黄色で、画面の外側は青をつかい、これはペンキのような塗料を塗った。

当時、図工の先生だったワタナベ先生が、その絵を取り上げて、子どもの感性と温かさを取り上げて、4本足のニワトリがあります。

これは、許可を受けてます。

本の出版した人に聞いたのです。

議長／静かに。

谷口議員／そういう子どもたちの温かい気持ちを…

議長／議員、以前からいってますが、固有名詞を使うときは注意して。

冒頭に言いました、市政事務に対する一般質問ということで、4本足のニワトリを見て、どう思うかじゃなくて、市政事務に対する一般質問をお願いします。

谷口議員／議長、少し失礼じゃないですか。

私も一般質問ですよ。

動物で、教育の中で、そういう感性とかが教育でどんな取り上げ方をしていたか、ということを知っているのです。

議長／静かに。

谷口議員／そういうことで、私が思うのは…。

議長／一般質問を続けてください。

谷口議員／こういうふうな、取り上げ方は素晴らしいと思います。

武雄市の教育の中には、こういうふうな、小さい命をいたわる気持ち、こういう気持ちがある子どもたちを育てている教育現場で、していただいていることを感謝しているわけです。

そのことを聞きたいのです。

きょうの新聞には、例えば、いじめとかが多いと。

しかも新学期に多いと。

そういう問題の中で、教育のあり方など、どういうふうなことを教育委員会にお尋ねしたい。

教育の内容についてはどういうことを果たしていくか。

私、これをしたというのを用意していたのですが、市長が絶対聞き取りに行くと言ってからみんな来れないんです。

私はそういう疑問もきちんと…。

そういうふうに、私は…。

議長／私語は慎んでください。

谷口議員／この前、谷口議員の質問は取りにいかないように言いました。

しかも泣いて、市長に訴えたと議会で言ってますよね。

私、ずっと聞いて回ったんです。

私がもし、失礼なことをしたらお詫びします。

何1つとして、市長に泣いて訴えた人はいませんでした。

議長／これは一般質問ですよ。

谷口議員／これは、一般質問ですよ。

そういうことをきちんとしなければ…。

議長／一般質問として私は認めていません。

一般質問をしてください。

谷口議員／議員としましては、あとは進まない。

議長／「静かに」は私が出しますから。

谷口議員／その点につきまして、教育監、武雄の教育の仕方があるんだということで、どう思いますか。

感性として。

市長に聞いてません。

教育監に聞いてます。

議長／樋渡市長

樋渡市長／前提をお伺いしたいのですが、Ustream 等で流れてますので、これに対してふつうの著作見物であった場合は、出版社、それと名前も出されてますので、当該人物あるいは保護者等に対して、これを出すという許可を取られているか、まずお伺いしたい。

許可を取られているなら、普通だったら私の所に報告があるんです。

あるいは議会には報告されたかもしれませんが、私の所には、一切報告はありません。

事務方からありません。

なので、どなたにどういう許可をいつ取ったかを明らかにしてほしいし、これを持って、許可なくしてこれを出されて、実名まで挙げられて言われると、これは結構重大問題だと思いますよ。

消されたほうが良いと思いますけどね。

私もその子が大きくなって、これを見たときにどう思うか、というと私は危惧をせざるを得ません。

かつ、私が質問取りに行くな、ということについては、私のところにはありました。

2、3 時間も監禁されて、自分の仕事をしたいのに一方的に喋られて、質問取りにならなかったと、私は受けてます。

複数から受けています。

認識の違いかもしれませんが、少なくとも、受けた本人は、私に怖い、ということを言われた。

それと、本当はこういう仕事がしたいのに、2、3 時間も取られて、ずっと何人もされたら、多くの人たちを待たせてされたら複数から聞いてますので、やむを得ず、谷口議員のほうには行きたくないという申請がありましたので、やむをえず許可した。

一方で、一般質問は大切なので、こういう資料については、ちゃんと出しますと、議会の場でも申し上げています。

それについては、事前に、資料の分、要求があった分については、事前に答えようとしているので、いろんな言い分があると思いますが、私たちとしては、公務が第一ですので、そういう意味でいうと、公務を優先させていただいて、というのが私どもの認識です。

いずれにしても、あなたの御指摘は、完全な的外れです。

議長／24 番 谷口議員

谷口議員／的外れな答弁してませんよ。

私が質問するときは、本を使わせてもらって良いですか、と。

そういうことについて、その子ども、4 本足のニワトリを書いたこどもが、けしからんというわけではなくて、心の暖かさを強調している問題ですから、それを取り上げているわ

けです。

そういうことで、こういう教育の中で、最近、いじめとかの問題の中で、2本足のニワトリを、子どものコメントまで入れてあります。

子どもの温かさが、学校内の問題の中で、活かされているのか、大事にされているか、というのが質問です。

なんでそれがおかしいと言うのか。

その質問の意味がお分かりにならないのなら私はそれがおかしいと思います。

議長／質問をしてください。

樋渡市長

樋渡市長／都合が悪いことがあろうかと思いますが、私の個人的な質問には、お答えいただけないんですね。

お勉強するにあたって、いつ、誰にたいして、許可を願い出たのか、その許可をちゃんと取れているのか、まずお伺いしたい。

谷口議員／反問ですか、なんですか。

議長／答えなくてもいいですよ。

私も議員には通告しましたね。

固有名詞を使うときには十分な注意してください、と。

24番 谷口議員

谷口議員／この本を貸していただくときに、このことを取り上げてよろしいでしょうかと。教育問題について、お子さんの温かい心について。

例えば、3年生当時の、子どもさんの考えた絵です。

ところが、西川登小学校ですよ。

西川登小学校にはもっと、それにも増してというか、一生懸命に頑張っているところがあるんです。

毎朝掃除をしている人もいます。

例えば、矢筈ダムができてから、毎日掃除をしている議員さんもいらっしゃるんですよ。

石橋議員さんのことです。

例えば、そういうふうな、西川登小学校の教育が、そういうふう感謝し、褒めていくことが、教育の中で活かされているのではないかと。

これは石橋議員から反論を受けなくていいです。

西川登の教育が良いと。
私は申し上げている。

議長／質問をお願いします。

谷口議員／質問ですよ。

学校の教育の内容について、個々の感謝の気持ちがあれば、いいんじゃないかと。

例えば、例として。

秋田県が、学力テストとか、そういうもので日本一だと、最高レベルだとよく言われます。それは、先生方の指導もさることながら、私が思うのは、秋田の人が、感謝する気持ち、これを忘れない県民性が教育に反映されていると思いますが、その点どうお考えですか。

議長／浦郷教育長

浦郷教育長／学力については、学力だけが向上するだけでなく、家庭や地域の力が大きいということは、申し上げます。

議長／樋渡市長

樋渡市長／多くの傍聴者が、議員の傍聴者ではないと思いますが、お見えになってますので、改めて申し上げますが、先ほどの出版物のここに出すということで、いつ、誰に、どのような許可を取られたのか、ちゃんと伝えないと、あなたは議会の権威とおっしゃいましたが、議会そのものが、他人の出版物、あるいは著作権を、そのまま無断で使用しているとかなねないので、疑念を晴らすためにも、いつ、どこで、誰に対してその許可を取られたのか、はっきり明示してくれれば、私としても、議員をさらに信頼するものになるので、お伝え願えればありがたいと思います。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／私は、ないという気はないです。

しかし、議会のことを考えて申し上げますが、教育の話をしたときに、私は、作者のワタナベ先生のところにお伺いして、図書館のある場所で見ただけ、手元にはないから、それを見せてほしいと、申し上げた上でですね、その本を貸していただきました。

私は、許可を受けないと思いますか？

失礼な。

議長／静かに。

樋渡市長

谷口議員／人を疑わんといけん性格はかわいそうですね。

樋渡市長／あなたが固有名詞を出されるからですよ。

出された本人が、今、どう思われているかと考えたときに、この場で消されたほうがいいと思います。

私の答弁中ですから、消してください。

もう1回聞きますが、本には、必ず著作権がございます。

複合著作権などというものがあって、日本の場合は出版社に対して、許可を得なければいけません。

個別のものなら、この場合なら、絵を描いたご本人、小さいときには、保護者の許可を得なければいけません。

それがルールです。

これを、こたえる必要がないというのは、多くの方々をご覧になっていますし、傍聴の方々も、そういった方々は、これは無断で言えないものだから、無断で、という類推が成り立つ。

私自身は思っています。

これは無断使用だと思っています。

議長／24番 谷口議員

さきほど、私が固有名詞を注意してということは、著作権等にも関係があるので、配慮いただきたい。

谷口議員／議会としての形式の問題。

それは、確認したでしょ。

私は、いつもそうです。

現場主義です。

必ず現場に行って、確認して。

それじゃないと質問はしてませんよ。

何十年議員をしているか。

全部わざわざ行って、私は持っていないから貸してくださいと、申し上げた上で、借りてきて、紹介して話をしているわけです。

市長が信じ切れないと。

ただ、そのことだけははっきり申し上げます。

政治生命にかけて、勝手に持ってきて話しているんじゃないですよ。
私も長年議員をやらせてもらって、きちんとしてやりますよ。
議長、そういう失礼なことは注意しなさいよ。

議長／私が、議員に言っているんです。
配慮してくださいと。
次の質問に移ってください。
24 番 谷口議員

谷口議員／きのう、おとといの新聞ですか。
武雄市図書館は飲食店だという記事で、市長が学校現場で申されました。
しかし、私 5 時の時間帯に図書館には行ったことはありませんと思いませんけど、
気のせいですか。
図書館で 5 時になったら、図書館で 5 時になりましたと、おうちに帰りましょと、放送
してますか？

議長／古賀教育部長。

古賀教育部長／児童生徒の皆さんに対して防災無線を使いまして、冬場は 5 時、夏場は 6
時で帰宅を促しているという状況です。

議長／樋渡市長。

樋渡市長／先ほど、青陵中に対して、申し入れがあったかどうか知りません、と言っていたが、これについては申し入れはしていません。
一般質問で話して、一般質問のあとに Ustream を見た記者さんから取材に応じ、かつ、この日に自分の考え方を、報道されるとわかったので、ブログやフェイスブックにまとめました。
直接、校長さんに出向いて、またはお呼びしてなど、青陵中が出した方針について申したつもりはありませんし、それを押しつけたつもりもありません。
私は、1 人の政治家として、武雄市図書館に関係することとして、青陵中が従来おっしゃっていたことについて、意義を唱えたに過ぎません。

議長／24 番 谷口議員

谷口議員／夏は 6 時、冬は 5 時、たしかにチャイムで帰る時間に鳴っているわけですが、

今、教育長の答弁だと、図書館でも、時間になると今も5時になりましたと、お帰りくださいと。

教育施設ですよ、図書館は。

娯楽施設ではない。

これはどうして？

もう1回お願いします。

議長／古賀教育部長。

古賀教育部長／児童生徒に対しては、一般的な指導として、早めに帰宅をお願いしている。

一旦、学校から帰宅をしたうえで、図書館なりに行くと、これは保護者の責任でやっていただいていると理解を致しています。

議長／樋渡市長。

樋渡市長／図書館を悪の権化みたいに思ってくださいることについてはもう慣れましたが、一般的に言って、サイレン、防災無線がありしたように、活用して、この季節だと夕方5時に帰りましょうということを、少なくとも武雄町の私どもが住むエリアでは、毎日流れていますので、先ほどあったように、一般的に暗くなる前には帰りましょうと。

図書館だからといって、図書館じゃないからといって、申し上げているのではないので、その点をご利用していただきたいと思います。

ぜひ前向きな議論をお願いします。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／後ろ向きに議論しているような感じを受ける答弁でしたね。

それこそが前向きにですよ。

子どもたちが一生懸命勉強して、図書館でいろんなことを学んで、時間になると帰ってくる。

図書館があることで安心している親もいると思います。

図書館行ってくると言ったら、行っておいでとみんな言ってますよ。

うちの子どもたちも図書館行くと行ったら、言っておいでと言っていました。

私も子どもを持つ親ですから、言っていましたよ。

なにも後ろ向きな考えではない。

問題はそういうときに、本に夢中になって帰る時間を忘れることもあるんじゃないかと。

そこは、本を読む場所だけでなく、飲食もともなう場であることを清涼中学校も心配して、そういったことを言っている。

それはそれとして、別の問題で、図書館も時間になると5時になりましたと、鳴らして、1つの教育として、来館者に迷惑を掛けることもないので、そういうことについては、図書館を委託したことについて教育委員会にしても、市のほかのところでサイレンを鳴らすとか、子どもがいっぱいいる場所になおのこと、教育的な配慮であり、青少年の非行防止とかの問題の認識を聞いているわけです。

どうですか、教育長？

議長／古賀教育部長

古賀教育部長／先ほど、お答えしたとおりですが、学校から帰宅をするということで、指導をいたしてしまして、図書館等の施設を利用するのは、これは、結構なことだと思いますが、この辺は保護者の責任でやっているというのが実情であると、先ほど申し上げたとおりです。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／青陵中学校とかほかの武雄中学校登校関係が、子どもたちの時間外の問題について被害に遭わないように、あるいは教育的配慮で、時間を何時ぐらいまでということを書いて聞けばね、ただ、親もわかっています。

暗くなるのも忘れて、子どもたちも時間を忘れて本を読みます。

それも教育施設の1つである図書館として、お金がかかるわけでも、迷惑がかかるわけでもないし、そういうことが大事じゃないかと申し上げています。

答弁じゃないです。

今のは。

どうですか。

議長／教育部長、答弁は答え一緒ですか？

同じ質問で、答弁が一緒の場合は、3回まで質疑となっています。

方向を変えて。

それが3回までとなっています。

谷口議員／教育長についてですよ。

市長には聞いてません。

議長／古賀教育部長。

古賀教育部長／先ほどお答えしたとおりでございます。

谷口議員／3回目でしょ、もう1回。

議長／だいたい、町村議会は3回まで、市議会は2回までとなっています。

議長が認めることがあるので、それで飛ばした。

谷口議員／私が言ったのは、違う問題で。

例えば、テレビやネットとか図書館問題にいろいろ書いてあるのを紹介しました。

今、飲食を伴う一説もあると、それは間違いないです。

私が行ったときはそれは子どもがおりましたから、ごちそうしたことはあります。

そういうときに、お金を持っていない子どもたちは寂しいと思うんです。

教育的配慮はどこにあるのかと気がしてなりません。

私が申し上げるのは、歴史資料の問題について武雄の研究施設がどういう研究発表、努力をしているかを申し上げたいと思うんです。

時間、十分ありますから。

例えば、頭に入れてくださいね。

みなさんお聞きいただいているから。

例えば、1つの後藤家霊代の遺跡(?)、黒髪山、住吉町についてのレポート、資料としては、武雄市における陶磁器の製造における歴史的なもの、県の庁舎の移動、今分割民営化といわれるけど、鉄道は民営化で始まったのではないかというレポート、そういうものが、昔話、阿波踊りと王様について、というレポートを歴史研究会の人は発表して。

そういうのも、図書館資料館できあがっていったるわけです。

後藤家霊代の石器、武雄城、伝承記、市長が日本で最初に行われたんだということを、この間…。

私は武雄が1番だというレポートを書いて出しました。

それに対する反論といいますか、武雄が最初だよ、ということを気がするという発表も記者発表でありました。

そんな問題等についても、日本歴史研究会が蘭学館を中心にやって来た実績がある。

せっかくだから読み上げます。

江戸責め、江戸商人、江戸十兵衛が、八兵衛ではないのか。

あるいは、酒屋の問題、酒屋跡を片付けた問題しか出てこないですが、ナカムラジョアンさんの脚立があるんです。

そういう歴史的な背景の中にも、いわゆる武雄市の問題があったと。

全然、別に武雄酒造跡の問題だけとして、取り上げているというのは、私は歴史の本を読んでもわかり頂けるかなという気がします。

小楠の遺跡、カジワラ遺跡の調査。

武雄町と市の誕生、風土の違い。

シュウハツイケ、シマダジュウベエ欧州では、ぞくに出生日記。

これは武雄が戊辰戦争で出兵したときに、武雄、北方、山内いろんなどころから参戦している。

そういう歴史的な記録を武雄のそれぞれの方々がやってらっしゃる。

そういう記録があるんです。

はがきで見のお家騒動の選抜。

カワハラバンセイ。

ヒグチセンベイさんの問題についてのレポート。

それから、スミヨシギョウの中で、ある伊万里屋敷の問題。

そういったような、武雄の関係とか、戊辰戦争の記録とか、そういうものものの記録があります。

30 ページ近くあるので、全部読むと1時間かかるので。

こういうものをみんな、武雄のみなさんで研究し、発表し、そして著作し、市民の方々に伝えようとしたところが、武雄の歴史資料館であるんです。

何度もしつこいようですが、これを5年後に返してもらって、契約ですから、5年後には返してもらわないと。

返してもらって、本当に武雄の人たちが、そういう学問の中心としての場所にならないだろうかと。

そういうことを思っているか。

市長の考え方はないといっていましたから、5年後に市長をしていれば、考えは変わるでしょうから。

議長／議員、質問をお願いします。

谷口議員／質問しますけど。

黒谷城と住吉城についてのレポートはあるんですが、この関係は歴史文化館のほうで説明できますか？

議長／樋渡市長

樋渡市長／失礼だと思うんですよ。

市長を5年間していれば、何とかというのは、一般質問でする話ではないと思います。

それは有権者が決める話を、わざわざ市政の一般質問で出されるのは、これは議員の風上にも置けないと思いますし、あえていえば、議員の資格もないと思います。

それを私が痛感したのは、あなたの一般質問の中で、重大なおっしゃった。

図書館で、よその子どもにごちそうしたということをおっしゃいましたが、これは広く捉えれば、私たちが、もっともやってはいけない公職選挙法第 221 条、笑い事じゃないですよ。

広い意味で言うと、公職選挙法の私たちが 1 番守らないといけない、第 221 条の買収って、暗記するじゃないですか。

議会の場でおっしゃる、見識のなさというのははなはだ私も、人様の見識を言うのはいかにかと思いますが、やっぱりして良いことと悪いことがあるんですね。

それをダブルでおっしゃったということは、宮本栄八議員が浄水路と下水道でダブルパンチだとおっしゃいましたが、こっちのほうがダブルパンチで。

これこそが、政治化、あるいは武雄市議会の品位を著しくおとしめる発言だと思いますし、笑い事じゃないです。

そういうことからして、やはり、本当にこうやって政治家っていうのは、僕は 7 年ちょっとしか経ってませんが、こうやって信頼がなくなっていくと思いましたので、良い反面教師にさせていただきたいと思います。

議長／古賀教育部長

古賀教育部長／展示の関係で質問がありました。

展示につきましては、従来から蘭学館、企画展示室を使って展示をやってきました。

もう 1 つ、大事な歴史資料館の役割として、保存がございます。

これは特別収蔵庫、一般収蔵庫を使って、今も保存をしているということになります。

展示ですが、市長からあったように、企画展示ということで、本年度始めていまして、先ほどご紹介ありました、九州国立博物館においても、武雄蘭学の軌跡ということで、4 月から 7 月までやっているということで、今年の企画展示についてご説明しますと、4 月 1 日から 6 月 2 日にかけては、武雄鍋島の蘭学ということで、展示をしました。

それあから 7 月 13 日～8 月 15 日までは武雄鍋島、温泉焼き物という展示をしまして、10 月 5 日～11 月 10 日までは、武雄に残るユズテンをやっています。

これからは棟方志功展を挟みまして、特別企画展ということで、来年の 2 月 1 日～3 月 16 日にかけて、九州の蘭学、武雄の蘭学ということで、本物を見せる展示をやろうと考えております。

繰り返しですが、旧蘭学館につきましては、レプリカを中心に展示をしていましたので、今後、本物を中心に見ていただく取り組みを進めたいと思います。

議長／24 番 谷口議員

谷口議員／なぜ、レプリカを中心に展示されていたのか、ご存知で説明しましたか？

たしかに、レプリカしか展示できないときがありました。

そうせんとね、温度差とか、そういうものでずいぶん痛むんです。

歴史資料の取り扱いについて専門家はそういう言い方で、本物を展示してなかったかというのをおかしいですから。

私は専門家じゃありませんけど、本当に指の形をつけても、いわゆる、歴史資料がだめになることもあるので、慎重にやってもらっています。

必ずしも本物だけじゃなくて、レプリカしか展示できないんです。

本物あるわけですから。

先ほど市長がおっしゃいました。

公職選挙法と言いましたが、違反なら言ってください。

どこの子どもにあんなことはしてませんからね。

いつでもケンカします。

きょうも韓国からお客さんをお招きしています。

それくらいに武雄のことを、韓国の人にも情報発信して、武雄に来てくださいと。

観光協会の役割を個人としても果たしているつもりです。

私が横でジュースを飲んでいて、子どもがいましたが、その子どもたちがかわいそうですから、良かったらということで、1口飲んでもらったのが、なぜ選挙違反ですか。

おかしくてたまりません。

きょうも、かみ合わない論議を、これ以上あまりしたくありません。

しかし、大事なことがありますので、あと15分いただいているのでみっちりやりますよ。

武雄鍋島の蘭学についてですよ。

今の、謝罪的な答弁。

どういうものがあるんですか？

引退して。

議長／どういふことでしょうか。

谷口議員、もう1回、質問を。

すみません。

どういう収蔵物があるんですかと言われたんですか。

谷口議員／収蔵物は言っていない。

どういう歴史的なものが、という話をしています。

収蔵の中身は言えないんですか。

議長／古賀教育部長

古賀教育部長／ご質問の節がよくわからなかった点がございます。

蘭学について、社会的に、どのような評価があるのか。

武雄の蘭学というのは、超一級の資料と思っています。

したがって、超一級の歴史資料を保存するのが、私たちの責任ではないかと考えています。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／うれしいことを言いましたね。

当然のことですね。

武雄としては。

超一級の資料。

いわゆる、全国の専門的な方々からも、非常に評価が高い。

その中に、例えば、鍋島さん、後藤家のものとかありますが、その中にいろんなものが、入っているわけですよ。

そういうものの考え方はどうですか。

それを世の中に出すとすれば、大変な羨望の的ですよね。

そう感じますけど、教育長、どう思いますか？

議長／浦郷教育長

浦郷教育長／評論家的になるかもしれませんが、図書館がこれだけ、市民の皆さんの指示を得て、あるいは全国から注目されることができたと思っています。

片方で、市長も歴史文化への理解も示しておられますし、私どもは其中で、図書館の改革をさらに充実させること。

そして、片方ではこれまでも述べてきましたが、歴史的な文化、あるいは遺物、いろんなものを大事にするのは、もちろん大事だけれども、私どもは、心を学んで、それに匹敵することをすると。

そういう意味で、話をお聞きしますと、それぞれを大事にする。

それ以上の気持ちでやろうと、そう考えています。

議長／24番 谷口議員

谷口議員／そういう気持ちで、教育委員会だけではなくて、執行部、全体に知ってほしい。

次に行きます。

水飲み場があります。

何歳ぐらいまでの子どもが飲めるんですか？

前の議会でも取り上げました。

図書館、歴史資料館にいったとき、やっぱり、有料のものしかないから、水を飲みたくても飲めない。

水飲み場をすぐに設置してほしいと。

ところが、遠慮したんですかね。

私は別として、水飲み場をきちっとしてほしい。

例えばこれは足で踏むと、小さい子どもは飛び上がって、水が出るんです。

そして床いっばいに濡れているんです。

拭きますからふきんを貸してくださいと言いましたから、図書館に行って。

それは、自分でしますということで。

嘘ばっかりって、何を言うんですか。

私、嘘は言いませんよ。

議長／静かに。

谷口議員／そういうことですから、子どもたちも飲めるようにしてほしい。

もう1つは、申し上げますけども、例えば同じ水でも、嬉野市役所。

そのときに、入り口には***があります。

武雄の名産は、レモングラスだっていいじゃないですか。

ちょっとボタンを押したら飲めるように、それを武雄が打ち出すのによい機会なんですよ。

私はそういう状況ですので、これは小さい子どもたちが飲めるようではないんですよ。

私は、せっかくするならば、そういうふうにご利用しやすいようにして、しかも安心して飲めるような、そのような思いやりある図書館であってほしいということを申し上げています。

時間ですので、質問を終わります。

議長／以上で、24番谷口議員の質問を終了させていただきます。